

湘南邸園文化ツーリズム（神奈川県）

ストーリー・将来のビジョン

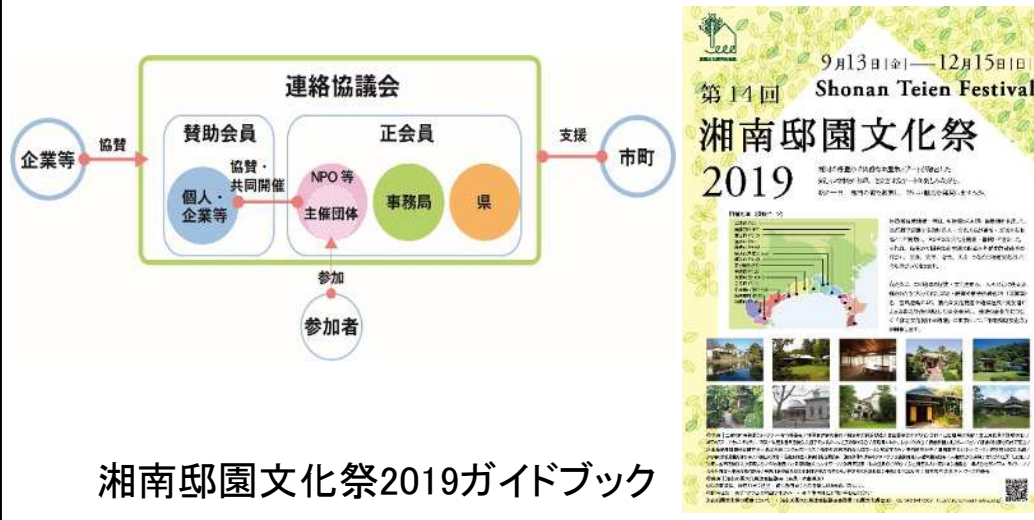
- 『湘南の邸園文化』の魅力を中心に国内外へ広く発信し、邸園の保全活用に向けた機運を醸成し、地域の活性化につなげる。
- 現状の課題として、各地域の連携が薄いことから、「湘南邸園文化ツーリズム」を通じて、横のつながりの強化に努める。



邸園文化圏再生構想

取り組み概要

- 取組主体：湘南邸園文化祭連絡協議会
- 構成団体：各邸園の管理者である市民団体等、神奈川県、14市町、企業等
- 活動実績：平成18年より「湘南邸園文化祭」として邸園等を活用した文化的催しを9月～12月に開催



構成庭園

相模湾沿岸一帯の保養別荘地に存する邸園により構成されています。

- ①万代会館（公共、約0.4ha）
帝国銀行頭取などを務めた万代順四郎が夫人の転地療養のために購入した別荘
- ②山口蓬春記念館（民間、約0.2ha）
日本画家・山口蓬春が23年間過ごした邸宅と画室
- ③蘆花記念公園（公共、約2.5ha）
明治の文豪徳富蘆花ゆかりの地で、園内に歴史的建造物が2邸存在
- ④旧山本条太郎別荘（民間、約16.5ha）
満州鉄道総裁山本条太郎が建てた別荘
- ⑤旧モーガン邸（公共、約0.7ha）
建築家J.H.モーガンが建てた邸宅（現在は焼失）
- ⑥俣野別邸庭園（公共、約5.8ha）
住友家第16代当主により建てられた別邸を復元、設計者は佐藤秀三
- ⑦茅ヶ崎館（民間、約990㎡）
映画監督の小津安二郎や是枝祐和が脚本執筆のため宿泊
- ⑧大磯城山公園 旧吉田茂邸地区（公共、約3.0ha）
吉田茂の養父吉田健三が別荘として建てたもので、近年復元された
- ⑨大磯城山公園 旧三井別邸地区（公共、約7.0ha）
三井家第10代当主により建てられた別邸跡
- ⑩明治記念大磯邸園（整備中、公共、約6.2ha）
明治期に活躍した政治家の4邸宅等からなる邸園群
- ⑪旧木下家別邸（公共、約1,200㎡）
米国帰りの建築家小笹三郎設計の現存する最古のツーバイフォー建築
- ⑫小田原邸園交流館 清閑邸（公共、約528㎡）
黒田官兵衛から数えて14代目の黒田長成侯爵により建てられた別邸
- ⑬,⑭小田原文学館 本館・別館（公共、約0.5ha）
明治政府で宮内大臣などを務めた田中光顕伯爵により建てられた洋館（本館）と和館（別館）
- ⑮松永記念館・老樺荘（公共、約0.5ha）
電力王と呼ばれた実業家松永安左エ門が建てた邸宅

対象地域

⑫清閑邸（公共）



⑬小田原文学館本館（公共）



⑭小田原文学館別館（公共）



⑮松永記念館・老樺荘（公共）



⑩明治記念大磯邸園（整備中・公共）



⑪旧木下家別邸（公共）



⑦茅ヶ崎館（民間）



⑧・⑨大磯城山公園（公共）



⑤旧モーガン邸（公共）



⑥俣野別邸庭園（公共）



①万代会館（公共）



②山口蓬春記念館（民間）



③蘆花記念公園（公共）



④旧山本条太郎別荘（民間）

